

第1章 子どもの読書活動推進計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

(1) 推進計画によせる願い

『各務原市子どもの読書活動推進計画』は、本市のすべての子どもたちが、読書によって自ら学ぶ楽しさを知り、自立して、人生をより深く生きる力を身に付けることができるよう、子どもたちの幸せを願って策定します。

(2) 「読み聞かせ」は豊かな子育ての第一歩

赤ちゃんが、かわいい、ふくよかな笑顔を見せ始める頃でしょうか。お母さんや保護者の「膝上抱っこ」による心を込めた「読み聞かせ」（満1歳頃までは、絵と一緒に見ながらの語りかけ）が始まります。

赤ちゃんが、絵を見て、じいっと耳を傾けます。全身でよろこびの声をあげます。赤ちゃんと保護者が、ほのぼのとした幸福感に包まれるひとときです。赤ちゃんの興味・関心を尊重した「読み聞かせ」は、豊かな子育ての第一歩と言えます。

保育所や幼稚園では、「読み聞かせ」が毎日のように行われます。子どもたちは、作品の登場人物の心情や行動について考え、それまでの経験を踏まえて、いろいろ想像し、自分の考えや思いを確かめ、話そうとします。つぶらなその瞳は、輝いています。

子どもたちは、絵本や物語に親しむことから、たくさんの言葉を覚え、動作化し、得た知識を活かして楽しく遊びます。小学校へ入ってからも「読み聞かせ」は続きます。先生や友だちと心を通わせ、豊かな感動を重ねていきます。

(3) 子どもを取り巻く地域の読書環境

耳からの聞く読書活動や読書の重要性について、理解や関心を深めるためには、保護者への啓発だけでなく、支援や環境づくりが大切です。

本市では、中央図書館、川島ほんの家、もりの本やさん、中央ライフデザインセンター図書室、保育所、幼稚園、小・中学校、ライフデザインセンター、5つの子ども館、健康福祉センターなどにおける各種講座や事業、おたよりの中で、また、職員やボランティアの「読み聞かせ」活動等を通じて、啓発、支援、環境づくりを進めています。

中央図書館には児童書コーナーがあり、7万冊の子ども向け図書を備えています。成長段階に応じた本の紹介や、読書についての相談も行っています。「おはなしのへや」では、ボランティアの協力を得て「読み聞かせ」を行っています。

子どもの読書活動を推進する各機関及び諸団体が、今後、それぞれの立場を踏まえながら連携を密にし、十分な役割を果たすことが求められています。

(4) 生涯身に付く「読む読書」の習慣化

子どもは成長するにつれて、読み聞かせ（聞く読書）から「自分で読む読書」もできるようになります。「読み聞かせ」によって、豊かな感動を積み重ねてきた子どもは、読書の楽

しさ、すばらしさを知り、読書習慣を身に付けます。自主的な「読む読書」への移行も自然に進むと考えられます。

「読む読書」とは、作品の主人公や作者と向き合い、言葉の意味や働きを通して、作品の主題や意図を読み取る活動であり、思考力、想像力、読解力、言語力、表現力を育み、人生をより深く、幸せに生きるために必要な知識や教養も身に付けることができます。

心に残った作品や、美しい表現の文章などを音読や朗読で読み味わい、深めることも「読む読書」です。自主的な読書活動を続ける子どもは、人や自然と共生する温もりのある関係を築くことができます。

「読書が好き」な児童生徒の割合は、小学生、中学生、高校生との間に大きな違いは表れていませんが、学校段階が進むにつれて、子どもたちが読書をしなくなる傾向は顕著になります。これは、中学生や高校生は部活動などに時間が取られ、読書する時間を確保することがより難しくなるからとの指摘もなされています。

生涯身に付く読書の習慣化を図るには、学年が進むにつれ様々なジャンルの図書を紹介し、その読書の幅を広げ、教育課程の展開に貢献する読書指導を行うことが重要な要素となります。

領域の広い読書からは、読書を通して、子どもが精神を動かされる広い世界の人や事からの出会いがあります。それは、子どもの輝く未来への大きな指針となります。

(5) 思わず本が読みたくなるような学校図書館の経営

学校図書館は、子どもたちの自由な読書活動の場として、子どもたちの育ちを支える重要な拠点です。子どもが思わず本を読みたくなるような、心のやすらぐ学校図書館が求められています。小学校の高学年、中学生、高校生では、テーマや課題を設定し、図書館の多くの本を参考資料とした「調べ学習」や、「作品づくり」、「研究」など、楽しく充実した読書活動の展開が期待されます。

学校図書館では、常に「子どもに十分活用されているか」、「子どもたちのために利用しやすいように、十分に整備されているか」の観点から運営されていることが大切です。

読書教育目標の明確化を図り、具体的な読書活動の事例紹介や実践を含めた研修など、図書主任や司書教諭を中心とした活力ある読書活動の推進が「楽しく読書する子どもの姿」にせまります。

保護者に対しては、子どもの読書活動の意義や重要性和、学校での子どもの読書活動の内容について理解を深めることも求められています。

『各務原市子どもの読書活動推進計画』は、本市が取り組むこと、家庭、地域、学校において取り組むことが期待されることを、この計画の中で示しています。

本市のすべての子どもたちの輝く未来が、より深く、幸せなものになることを願い、家庭、地域、学校それぞれが相互に連携、協力して、一人一人の子どもたちの自主的な読書活動の推進を図るような取り組みを進めるとともに、必要な環境づくりに努めていくこととします。

2 基本方針

◇◇◇『夢』はぐくむ本との出会い ◇◇◇

1. 読書のよるこびや、楽しさを味わうことができます
2. ことばや知識を得ることができます
3. 豊かな心や夢を育てることができます
4. 思考力、想像力、表現力、読解力を育てることができます
5. 自然や社会、世界を知ることができます
6. 人生をより深く幸せに生きる力を付けることができます

(1) すべての子どもが読書を楽しむ読書活動の推進

子どもが自ら読書に親しみ、進んで読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動を推進します。

(2) 家庭・地域・学校が相互に連携・協力した取り組み

子どもの自主的な読書活動の推進のために、家庭、地域、学校がそれぞれの立場をふまえながら連携・協力して取り組み、必要な体制を整えます。

(3) 子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備

乳幼児期から発達段階に応じて読書に親しめるよう、読書の楽しさを知るきっかけづくりや、読書体験を深める機会の提供をします。また、子どもが興味を持ち感動する本を身近に整えるなど環境の整備に努めます。

(4) 子どもの読書活動への理解と関心のための啓発

身近な大人が読書活動に理解と関心を持つために、読書活動の意義や重要性について啓発し、社会全体で読書活動を推進する気運を高めます。

3 計画の期間

概ね、平成21年度から25年度の5年間とします。ただし、計画期間中においても、必要に応じ内容の変更・修正ができるものとします。

4 各務原市子どもの読書活動推進計画全体構想

読書の意義	活動の領域・目標	施策の方向	具体的な取り組み
<p>人生をより深く幸せに生きる力を付けることができます 自然や社会、世界を知ることができます 思考力、想像力、表現力、読解力を育てることができます 豊かな心や夢を育てることが出来ます ことばや知識を得ることが出来ます 読書のよさを知ることが出来ます</p>	<p>家庭における子どもの読書活動の推進</p> <p>★子どもが読書に親しむ家庭づくり</p>	<p>◇家庭では</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味と関心を尊重した読書の機会づくりと場の工夫 読書の良さを知り、進んで読書する習慣づくり 	<p>ふれあい絵本デビュー（ブックスタート）事業 家庭での読み聞かせ 「家庭読書の日」・ノーテレビデーの取り組み 保護者自身の読書・子どもと一緒に読書の時間 本のあるスペースづくり 図書館や子ども館などの読み聞かせ等への参加 図書館の新館案内やHP、ブックリスト等の利用</p>
	<p>地域における子どもの読書活動の推進</p> <p>★子どもが身近な場所で本と出会う地域づくり</p>	<p>◇市立図書館では</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが楽しい本や求めている本と出会うための図書館づくり 子どもが読書を楽しめる機会づくり 障がいがある子どもや、日本語以外の資料を必要とする子どもへの支援 	<p>子どもの本の充実・各コーナーの充実・掲示の工夫 おはなしのへや・児童書コーナーの整備 調べ学習の援助・レファレンス機能の強化 幼稚園・保育所・小学校・養護学校への団体貸出 読み聞かせやおたのしみ会、講座や教室の充実 子どもの利用案内やブックリスト作成・HPの充実 子ども読書の日・読書週間など読書活動の啓発 出前講座「読み聞かせ教室」のPR 移動図書館「さつき号」の活用・PR 障がいのある子どもが楽しめる資料の充実 ボランティアの協力による手話や対面読書の確立 外国語絵本や外国語児童図書書の充実 外国語版の利用案内等の作成と図書館PR</p>
<p>基本方針</p> <p>子どもの読書活動への理解と関心のための啓発 子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備 家庭・地域・学校が相互に連携・協力した取り組み すべての子どもが読書を楽しむ読書活動の推進</p>	<p>◇ライフデザインセンターでは</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の一環としての読書活動の推進 	<p>◇子ども館では</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本を通じた親子のふれあいづくり 	<p>子育て講座を通じた読書活動の啓発 読み聞かせやおはなし会などの実施 読書ボランティアの活用 ちょっと一息「図書コーナー」設置</p>
	<p>◇健康・福祉センターでは</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者への子どもの読書推進活動 子どもの読書のきっかけづくり 	<p>◇子ども会では</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書活動の推奨 	<p>読み聞かせやおはなし会などの実施 親子で絵本と触れ合う場の提供</p> <p>リーフレットの配布・図書館のPR 絵本の読み聞かせ・絵本の読み方や楽しみ方の説明 読書の意義の啓発</p>
	<p>学校における子どもの読書活動の推進</p> <p>★子どもが本にふれあう環境づくり ★子どもが自主的に読書できる環境づくり</p>	<p>◇子ども会では</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書活動の推奨 	<p>読み聞かせ・読書会の実施 「出前講座」の活用</p>
	<p>子どもの読書活動についての啓発と推進体制の整備</p> <p>★家庭にとどく子どもの読書活動の啓発と推進</p>	<p>◇市立図書館・学校・ボランティア・市民団体との連携では</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の支援と相互の連携 	<p>子どもの読書に関わるボランティア活動のサポート 小学校・子ども会での読み聞かせの充実 読書サークルと連携した推進 ボランティアの募集と研修 図書館見学・インターンシップ・体験学習の受入 リレーメール事業による交流 市立図書館団体貸出制度の利用 リコース本の活用</p>
<p>◇幼稚園・保育園では</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが読書に親しむための多様な読書活動の推進 読書環境の整備、充実 	<p>◇小学校・中学校・高等学校では</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書教育目標の明確化・組織体制の確立 子どもの自主的な読書活動から、習慣化をめざす幅の広い読書活動の推進 子どもの学習やくらしと結びついた図書館経営の充実 	<p>「読み聞かせ」など読書活動の多様化の工夫 図書コーナーの拡大・蔵書の充実・絵本の貸出 市立図書館団体貸出制度の利用 絵本の紹介・PR・図書展示の工夫 「読み聞かせ」技術の向上など職員のスキルアップ</p>	
<p>◇図書館主任を中心とした職員の協力体制の確立 図書館利用指導・教科学習を通じた読書指導 図書館の整備・蔵書の充実・読書しやすい環境づくり 全校一斉読書の実施 必読図書・推薦図書の設定 領域を広める多様な読書活動の開発 「読書カード」・「読書ノート」の活用 個に応じた読書指導 本の紹介活動・読み聞かせ・朗読 インターネット・PC環境の整備 市立図書館の団体貸出制度の利用 家庭や地域と連携した読書活動の啓発と推進 地域ボランティアの活用 親子読書のすすめ</p>	<p>◇「美しい都市各務原へ」をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域、学校をあげての読書推進活動への働きかけ 子どもの読書活動の総合的な推進体制づくり 	<p>図書館主任を中心とした職員の協力体制の確立 図書館利用指導・教科学習を通じた読書指導 図書館の整備・蔵書の充実・読書しやすい環境づくり 全校一斉読書の実施 必読図書・推薦図書の設定 領域を広める多様な読書活動の開発 「読書カード」・「読書ノート」の活用 個に応じた読書指導 本の紹介活動・読み聞かせ・朗読 インターネット・PC環境の整備 市立図書館の団体貸出制度の利用 家庭や地域と連携した読書活動の啓発と推進 地域ボランティアの活用 親子読書のすすめ</p>	
<p>◇「美しい都市各務原へ」をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域、学校をあげての読書推進活動への働きかけ 子どもの読書活動の総合的な推進体制づくり 	<p>「子ども読書の日」・「こどもの読書週間」の啓発 『各務原市子ども読書活動推進計画』の周知と、家庭・学校・地域での取り組みの啓発 子どもの読書活動推進に関わる事業・行事の実施 子どもの読書活動推進委員会（仮称）の設置</p>		

子どもの輝く未来を開く本の出会い